

あけぼの

013

特 集

脊椎専門外来について

緩和ケア外来・
入院面談について

二次性骨折予防への取り組み
～高齢者の骨折治療と予防、そして心づもり～



2024

7

July



医療法人社団曙会
シムラ病院

新年度のご挨拶

「断らない救急」の実践と全人的医療を理念とし、
患者様第一の治療・ご希望に沿った支援を行っていくために
地域の先生方や施設の皆様との連携を
深めさせていただきたいと思っています

医療法人社団 曙会 シムラ病院 理事長
池尻 佑美

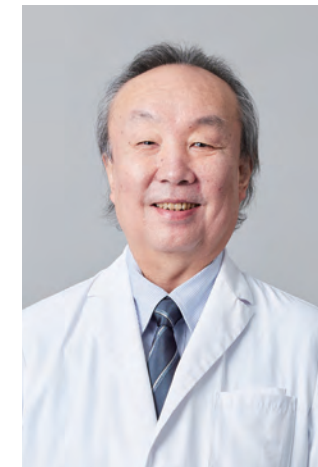


日頃より格別のご指導・ご鞭撻を賜りまして心より感謝申し上げます。
当院は広島県の整形外科領域の輪番制当番医として24時間365日救急医療の一端を担っています。2025年問題を目前に控え、超高齢社会において当院の役割を果たすためには、当院の理念である「断らない救急」の実現と「全人的医療」に真正面から真摯に取り組む必要があることを実感いたします。
当院はこれまで整形外科中心の急性期、地域包括、回復期リハビリテーション、さらには緩和ケアと様々な分野の医療に取り組んでおり、昨年度よりこれらの理念に沿った医療に加えて専門分野にも力を入れております。整形外科領域では日本の脊椎外科のトップリーダーとして実績をあげられた特別院長・藤林俊介先生による最先端の脊椎外科の診療体制がはじまり、成人脊柱変形や脊椎疾患に伴う痛みなどでお困りの多くの患者様に喜んでいただいています。
また、当院に初めて内科の常勤医師にも加わっていただいたことにより高齢者の多い病棟管理など一般内科は勿論、肝臓・膵臓・上部下部消化管の内視鏡・健診など専門分野を網羅し、充実した内科診療も受けられるようになりました。

さらには、様々な分野において広島大学病院にご協力いただいております、救急医療体制の強化、手外科や足外科、骨盤骨折など難易度の高い整形外科手術だけでなく、外科部門では、呼吸器外科手術や乳腺手術も行っております。また、漢方診療センター教授・小川恵子先生の漢方外来も鍼灸治療と併用することで益々パワーアップしていただく予定です。また、これまでと同様、循環器内科の先生方には週4回午前の外来を継続していただきます。
今年度も引き続き救急医療を柱として、専門分野についても診療体制を強化し、患者様第一の治療・ご希望に沿った支援を行っていきたいと思います。ますます地域の医療機関の先生方や施設の皆様との連携を深めさせていただき、地域において信頼されるシムラ病院となれるよう、より一層努力して参ります。
これからも温かいご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
最後に、当院の診療や取り組みについてもわかりやすくご案内するため、この度装いを新たにいたしました「あけぼの」をどうぞご一読いただければ幸いです。

これからも、
広島市の2次救急を支える病院として
「救急医療を通して社会に貢献する」との
理念を実践していきたいと思います。

医療法人社団 曙会 シムラ病院 院長
高野 弘嗣



令和6年度も多くの新入職員を迎え、新年度がスタートいたしました。診療部は新たに整形外科医2名、麻酔科医1名、内科医2名の新任医師が加わりました。「救急患者は可能な限り受け入れる」という目標を実践し、昨年度救急車搬入台数は1800件に近づき、また、手術件数は1500件を超えました。これからも、広島市の2次救急を支える病院として「救急医療を通して社会に貢献する」との理念を実践していきたいと思います。
また、もう一つの理念である「最後まで全人的医療を貫く」ため、在宅復帰を支援する回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟、人生の最終段階における医療を提供する緩和ケア病棟のより一層の充実を図っていく所存です。
専門外来の充実も図っており、整形外科では、人工関節外来、スポーツ外来、肩外来に加え脊椎外来では藤林特別院長を迎え低侵襲手術の導入が図られています。

外科では、乳腺外来および栄養サポート・摂食障害外来を、内科は内視鏡外来を開設しております。
今後も、シムラ病院が地域に貢献し、患者様にとって信頼できる医療機関であることを目指し、私たち一同、全力で取り組んでまいります。
これからもご協力賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

シムラ病院 新任医師のご紹介



整形外科 部長
副島 竜平

この度、令和6年4月よりシムラ病院整形外科に着任しました副島 竜平と申します。平成28年に藤田保健衛生大学（現：藤田医科大学）医学部医学科を卒業し、福岡大学病院にて初期研修後に福岡大学病院整形外科の医局に入局。その後は福岡大学病院、高木病院、福岡山王病院、飯塚市立病院にて勤務しておりました。これまで総合病院にて勤務しており、整形外科一般外傷を中心に診療しておりました。

今までは福岡県での勤務ばかりで今回が初めての県外勤務ということで、土地勘もなく、不慣れで迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、患者様・周辺地域のみなさま方のお役に立てるように精進したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



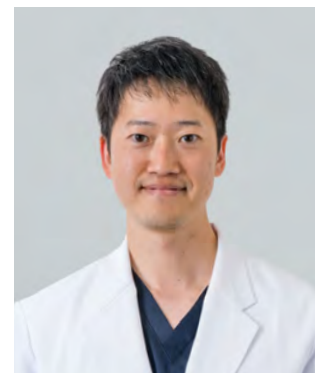
整形外科医
古賀 大智

令和6年4月よりシムラ病院整形外科に着任しました古賀大智と申します。令和3年に広島大学を卒業し、福岡大学病院に勤務してきました。生まれ育ちは福岡ですが、大学の6年間は広島で過ごしました。第2の故郷に帰って勤務できることを大変うれしく思っております。親切丁寧な医療を提供できるよう、努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



麻酔科医
梅田 絢子

令和6年4月よりシムラ病院麻酔科に着任しました梅田絢子と申します。週3日非常勤医師として勤務しています。私は平成19年に愛媛大学を卒業し、安佐市民病院、JA広島総合病院、広島大学病院などに勤務してきました。今までは大規模な総合病院の勤務経験しかありませんでしたので、シムラ病院に赴任して、まず各診療科やコメディカル、事務方との垣根の低さに驚きました。非常にアットホームな雰囲気の病院ですので、私も早くその環境に溶け込めるように努力していきたいと思っています。シムラ病院麻酔科では安全な全身麻酔はもちろん、超音波ガイド下の末梢神経ブロックを多用し術中術後の鎮痛の質を上げており、また術後疼痛管理も積極的に行っています。私も技術を向上させて患者様、病院スタッフのお役に立てるように精進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



内科医
石橋 一樹

この度、令和6年4月より、シムラ病院内科に着任しました石橋一樹と申します。平成28年に大分大学を卒業後、JA広島総合病院や広島大学病院で消化器内科領域を中心に研鑽を積んでまいりました。

内視鏡診療・治療をはじめとした消化管疾患が専門ではありますが、消化器内科のみならず内科疾患のことならなんでもお気軽にご相談いただければと思います。

不慣れで迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、少しでも患者様のお役に立てるよう、精一杯精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



内科医
松原 由佳

この度、令和6年4月よりシムラ病院内科に着任しました松原由佳と申します。広島大学病院、広島市立安佐市民病院で初期研修を行った後、中国労災病院、広島大学病院で内視鏡検査・治療をはじめとした消化器内科領域を中心に診療に従事して参りました。今までの経験を活かし、患者様に寄り添った医療を提供できるよう努めて参ります。小さなことでも構いませんので、不安なことや聞きたいことなどあれば、いつでもお声かけ頂ければと思います。不慣れで多々迷惑をおかけすると思いますが、少しでも皆様のお力になれるよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

非常勤

整形外科	橋口 直史
漢方診療	田村 義博
循環器内科	広川 達也
循環器内科	石田 俊介
脳神経外科	杉山 一彦





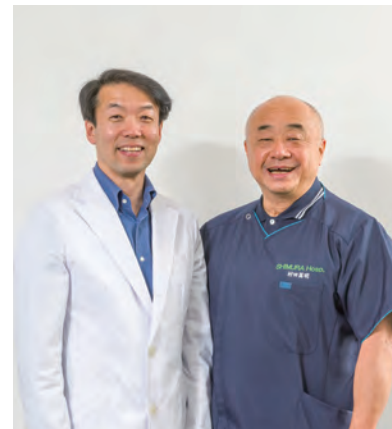
脊椎専門外来 について

特別院長 藤林 俊介

脊椎センター立ち上げから1年

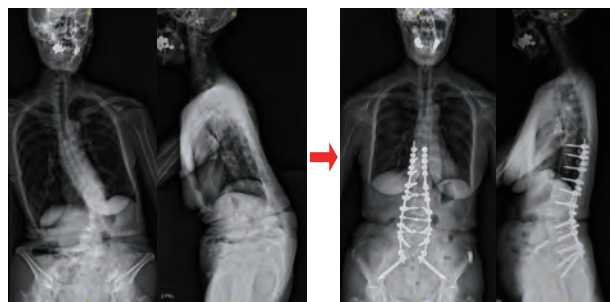
脊椎センター立ち上げから1年が経ちました。患者様を多数ご紹介いただきました地域の先生方ならびにご協力いただきました職員の皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

脊椎センターは日本脊椎脊髄病学会指導医の私と村田英明医師が担当し、私は主に頸椎疾患、脊柱変形、脊椎外傷の治療を担当、村田医師は骨粗鬆症性椎体骨折、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアに対する低侵襲手術を担当しております。



令和5年度実績件数

令和5年度から新しく導入した脊柱変形に対する矯正固定術は16件、頸椎椎間板ヘルニアに対する人工椎間板置換術は4件の手術を行いました。脊柱変形に対する矯正固定術は様々な最新技術を駆使し、低侵襲化を図っており、広島県内随一の病院であると自負しております。



成人脊柱変形に対する矯正固定術



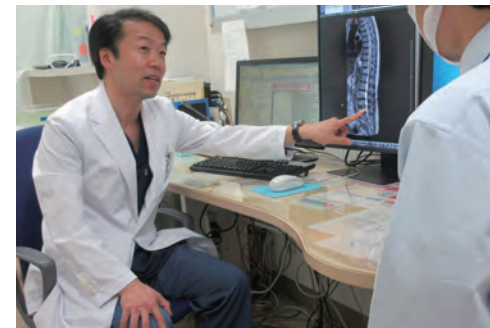
頸椎椎間板ヘルニアに対する人工椎間板置換術

シムラ病院の特徴

シムラ病院の特徴として複数主治医制と術後リハビリテーションがあります。患者様の高齢化に伴い、脊椎疾患に対しても集学的な治療が必要となっております。整形外科医のみで治療するのではなく、内科医や外科医、麻酔科医が患者様の治療に協力して参加することにより、全身状態の正確な把握と管理、合併症の早期発見と早期治療、術後疼痛の少ない手術、早期リハビリテーション介入、早期退院が可能となっております。



もう一つの特徴である回復期病棟・緩和病棟との連携によって、脊柱変形に対する大きな手術を受けられた患者様や高齢ゆえに術後回復に時間を要する患者様に対し回復期病棟・緩和病棟において、ゆっくり・じっくりとリハビリテーションに励んでいただき、自宅退院を目指していただくという環境が整っております。



令和6年度も引き続き、より良い手術・より安全な手術を目指してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

まずはお気軽にご相談ください



特別院長
藤林 俊介

診察日

木曜／土曜



院長代理
村田 英明

診察日

火曜／木曜

藤林特別院長が米国ベストドクターズ社から、医師同士の評価によって選ばれる“The Best Doctors in Japan 2024-2025”に選出されました。選出は1年ごとの更新で、藤林特別院長は2014年より選出されています。

《ベストドクターズとは》
ベストドクターズ社は米国に本拠を置き、世界各国で病状に応じた適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などを行っている会社です。ベストドクターズ社の名医選出方法は、膨大な数の医師に対して、「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、その中で治療能力、研究結果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、ある一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）と認定するというものです。



ベストドクターズ公式サイト：http://www.bestdoctors.jp
Best Doctors、star-in-crossロゴ、ベストドクターズ、Best Doctors in JapanおよびFineBestDocは、米国および/その他の国におけるBest Doctors, Inc.の商標です。



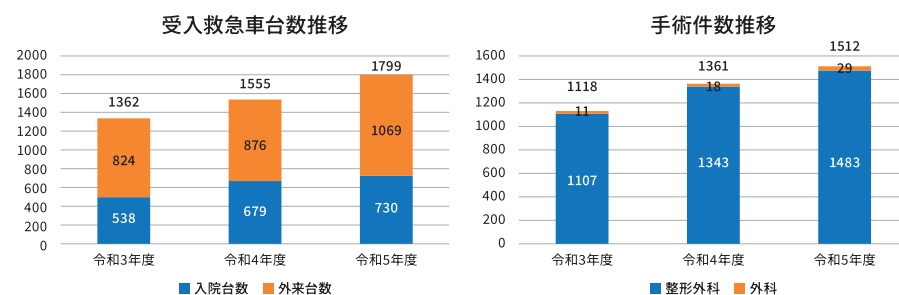
シムラ病院の 救急医療

副院長 池尻好聰



シムラ病院は一般急性期病棟49床、緩和ケア病棟17床、回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟51床の合計117床で運用しています。当院は病院理念にも掲げているように救急医療に積極的に取り組んできました。広島市の二次救急輪番制度に参画し、整形外科は平日・週末とも毎日輪番を担当し一次および二次救急を24時間365日受け入れています。新理事長が就任した後も当院の救急医療体制の更なる改善が図られ、また手術件数も増加しています（図参照）。

昨年度（令和5年度）は救急車受け入れ台数が1799台/年とこれまで最多で、令和3年度および令和4年度と比較すると、それぞれ16%および32%受け入れ台数が増加しています。これは当院職員や救急隊の働きによるところが大きいです。



高齢者の救急搬送の割合が高まっています。当院に救急搬送され入院となったほとんどの高齢者は、骨折など整形外科の問題だけでなく、すでに複数の健康問題を持っています。したがって高齢者の全身管理や包括的なケアが大変重要です。当院では外科医師に加え昨年度から内科医師の常勤体制と増員が達成されました。整形外科の入院患者を内科医師らとともに診療しています。今後も入院患者に総合的に関わることができるよう診療体制を強化します。入院した際、かかりつけの先生より診療情報提供書をいただいています。これはこれまでの基礎疾患などの経過を確認し継続して治療を行うためです。退院時には返書を作成し再びかかりつけの先生にご加療いただきます。患者にとっての医療の継続性を重視し、かかりつけの先生や多職種と連携します。



課題としては当院の救急医療体制の整備や応需率の上昇などが挙げられます。病床確保は最重要事項の一つと位置づけ全職員で取り組んでいます。全身状態不良時の総合病院への転院や継続ご加療、また急性期治療後の転院など多くの病院にご支援いただいております。



当院は引き続き救急医療に邁進してまいります。広島市やそれ以外の圏域から多くの患者さんが当院に救急搬送されます。当院だけでは到底十分な医療を提供できません。基幹病院や地域の医療機関、介護、福祉など様々な方達と連携します。包括的で継続的なケアを重視し、地域全体で医療を支えられるように努めます。



看護部のご紹介



看護部目標

2024 年度看護部には、看護師と看護補助者併せて 13 名の職員が入職しました。また、今年度から臨床工学科が看護部所属となり、今後ますますの活性化が求められています。看護部では、病院理念にもある、1日 24 時間1年 365 日断らない救急医療に対応するため、質の高い看護の実践に向けた人材育成と、お互いを尊重し、思いやりの心で多職種と連携していくことを目標としています。今年度もクリニカルラダーに沿って、一人ひとりの成長にあわせた人材の育成に努め、質の高い看護の実践を目指し、効率的なチームカンファレンスの実践と、できる限り多くの看護職員が、自分の考えを素直に言い合える環境を作っていく方針です。

昨年度の研修会紹介

第2回看護部発表会

2024年2月17日（土）

- ・新人看護師 6 名による「私の看護観」
- ・ケーススタディ 6 題
- ・看護研究 1 題



第1回看護部総会

2024年3月16日（土）

- 各委員会等や部署の目標に対して、取り組みと評価・今後の課題を発表
- ・委員会・リンク・チーム会議報告 12 題
- ・師長報告 5 題
- ・看護部長報告 1 題



職場環境の活性化にむけて

昨年度末に、看護部の発表会と総会を開催しました。第2回看護部発表会では、新人看護師の成長や、ケーススタディ・看護研究に対する取り組みの共有ができました。また、第1回看護部総会は、委員会等の活動内容や各部署の役割に対する取り組みを、看護職員一人ひとりが理解することを目的に開催し、多くの看護職員が出席しました。今まで全員を集めて伝える場がなかったため、出席者からは「今まで知らなかったことが、よくわかった」等の声を聞くことができ、今後も継続し開催していきたいと考えています。

看護部は、外来・手術室・一般病棟・緩和ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の5単位で構成されています。それぞれの部署の役割を理解し、協力しあう関係を強化することと、職員一人ひとりのスキルアップのため、定期的な部署異動で職場を活性化し、地域病院との連携強化に努めて参ります。



二次性骨折予防への 取り組み

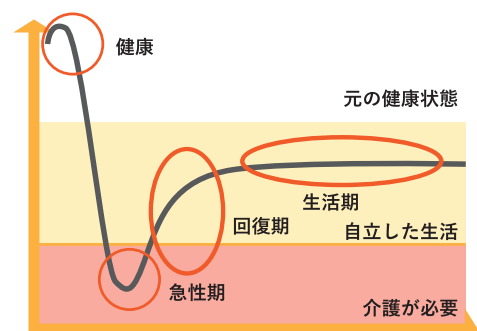
～高齢者の骨折治療と予防、そして心づもり～



シムラ病院は、骨折された患者様や骨粗鬆症の可能性がある年齢（50歳以上）の患者様が90%以上を占めています。入院患者様の高齢化が進み、高齢者への医療について当院での取り組みをお知らせ致します。

骨折と生存率

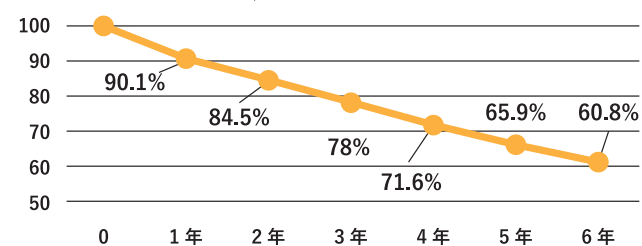
ご高齢の患者様は、骨粗鬆症等により軽度の転倒などでも骨折する場合があります。一度骨折すると再骨折する可能性が高まり、脆弱性骨折により健康度が悪化します。なかでも大腿骨近位部骨折や椎体骨折は、以前の健康状態に回復することは困難になります。また、骨折後の死亡率が高くなるデータが確認されています。



厚生労働省老人保健課「高齢者リハビリテーション医療のグランドデザイン」

大腿骨近位部骨折例の生存率

20,966例の長期観察結果



日本整形外科学会、厚労省長寿科学研究報告（2009）

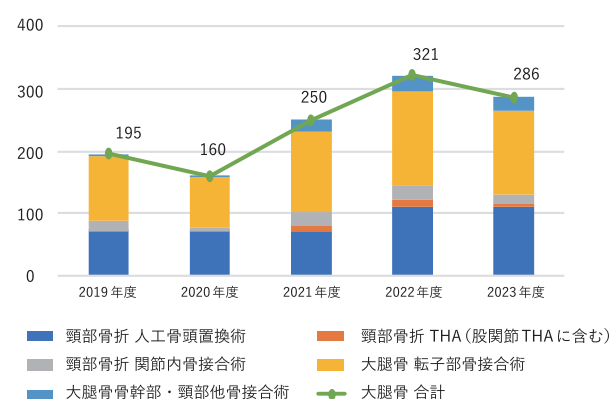
左の図は、大腿骨近位部骨折をすると6年の間に40%近くの患者様が亡くなっていることを示しています。

これらの報告は、骨折による活動性の低下から嚥下機能を含む筋力低下・環境の変化による認知症の発症や増悪・せん妄が出現する可能性があることや、心不全・肺・脳血管障害・全身の感染症などにより命を脅かす合併症を起こす可能性があることを示しています。

早期手術が予後にはよいと知られていることから、当院では早期に手術を行うことに積極的に取り組んでおります。

【当院の過去5年の大腿骨関連手術実績】

シムラ病院 大腿骨関連手術実績（過去5年）



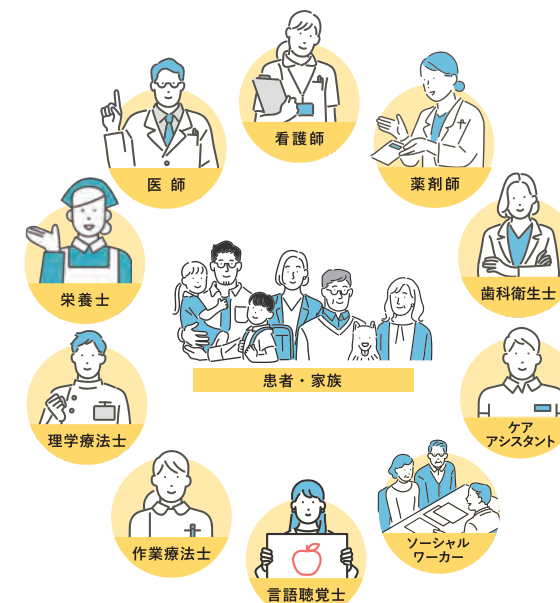
ACP;わたしの心づもり（人生会議）の必要性

当院では健康寿命を延ばしていただき、以前の健康状態に近づけられるよう早期手術を筆頭とした最大限の治療やサポートを行っていきます。しかし、どの患者様にも「もしもの時」はおこる可能性があります。当院では病状やご本人の意向に基づいた診療を行っていくために、通常の診療においても治療行為に対する意向や希望を確認することに努め、“わたしの心づもり”に寄り添った診療の普及にも力を入れています。更に詳しい内容については「事前要望書」を用意しています。当院への入院を機会に今後ご自身が受けたい、またはご家族に受けさせたい治療・ケアについて考えていただけるよう取り組んでいます。

二次性骨折（骨折を繰り返すこと）予防の重要性

脆弱性骨折は、繰り返すことが多く、二次性骨折を予防することは極めて重要と考え、骨粗鬆症の治療にも力を入れています。種々の骨代謝マーカーの測定や高解像度末梢骨用定量的コンピュータ断層撮影装置（HR-pQCT）撮影も可能で、骨の微細構造を明らかにし、必要時には実際の治療に取り入れています。多職種（医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）によるチーム医療を積極的に構築し、各職種の専門性を重視した診療を行っています。

また、退院後においても定期的に継続して健康状態を確認しております。



地域医療施設との連携

当院は、手術治療を担う一般病棟として二次性骨折予防継続管理を行っております。当院で治療を受けられた患者様が継続して、地域での外来診療やリハビリテーション病院にて治療を受けられるように、「多職種連携情報共有システム」を通じて確認できるようにしています。当院から転院または外来診療をお願いする場合に、その利用方法をご案内しておりますので、ご利用下さい。



問い合わせや事前要望書のご用命は主治医または看護スタッフへお申し付けください

緩和ケア外来・入院面談について

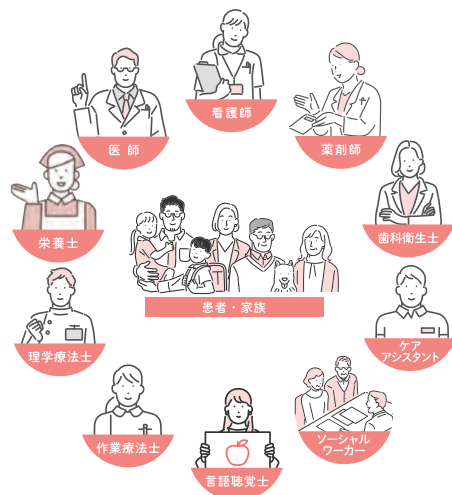
緩和ケアとは？

がんは、日本人の死因で最も多い病気です。日本では2人に1人がかかるといわれています。がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がんと診断された時から行う身体的・精神的苦痛をやわらげるためのケアです。

当院における緩和ケア

多職種連携

患者様とご家族の療養生活がよりよいものとなるように、多職種（医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）によりチーム医療を積極的に構築し、地域や在宅の医療機関と連携を行ってまいります。



緩和ケア外来

「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。当院では抗ガン治療中であっても、住み慣れた場所で生活しながら、外来で専門的な知識をもつ医師（ペインクリニック専門医・緩和ケア認定医）や緩和ケア認定看護師から緩和ケア・患者支援を受けることができます。お気軽にお問い合わせください。

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、緩和ケアに特化した病棟で、様々な苦痛症状を緩和することを専門的に取り組んでいます。外来通院がなくなった場合や、一般病棟・在宅ケアでは対応困難な場合は、入院により苦痛の緩和と生活の質の改善を行います。毎日理学療法士が介入し、ADLの維持のため、リンパマッサージなどを含みリハビリテーションも行います。入院での緩和ケアにより体や心のつらさが和らいだら、退院し自宅に帰れるよう入院時から退院支援も行っています。入院前には事前に面談をさせて頂いております。お気軽にお問い合わせください。

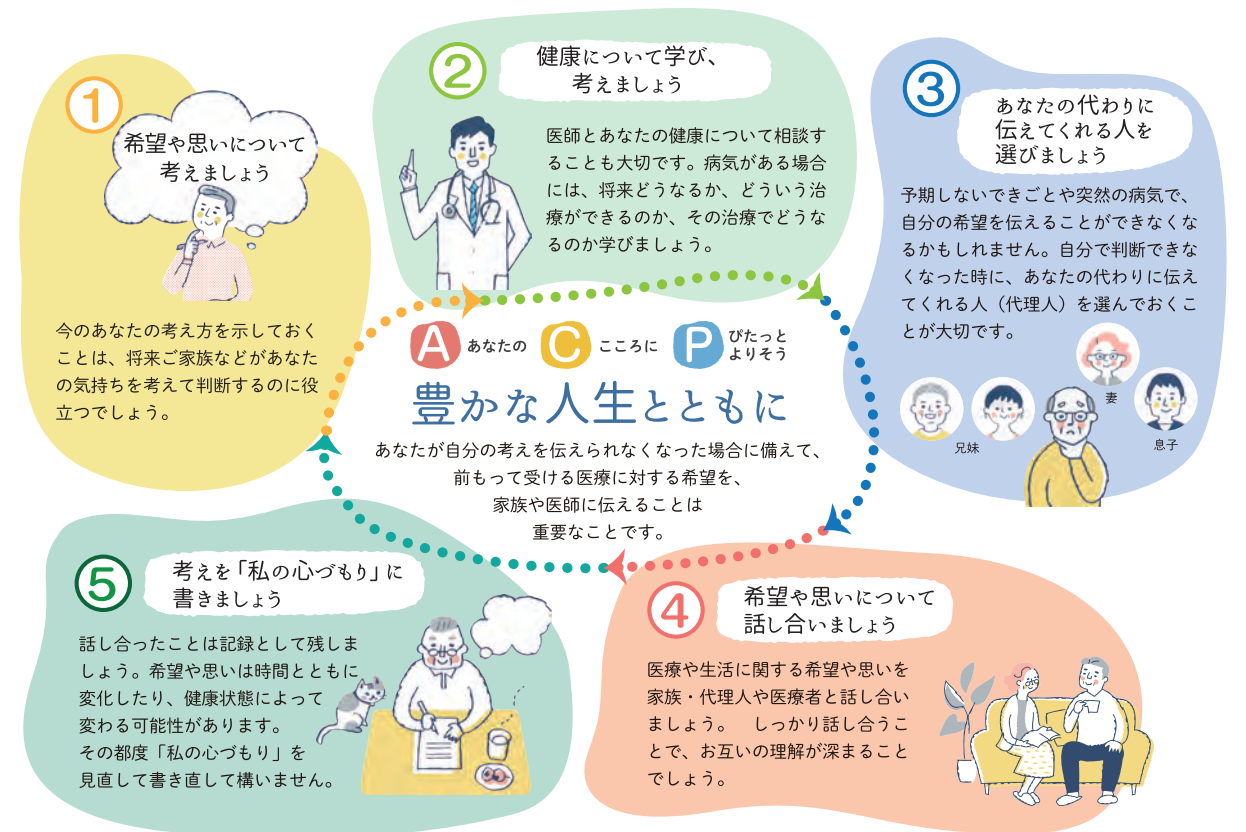


*日本緩和医療学会「WHO（世界保健機関）による緩和ケアの定義（2002）」定訳

わたしの心づもりの必要性

（ACP：アドバンスケア・プランニング，人生会議）

当院では病状やご本人の意向に基づいた診療を行っていくために、通常の診療においても治療行為に対する意向を確認することに努め、「わたしの心づもり」に寄り添った診療の普及にも力を入れています。患者様の価値観や意思が尊重され、尊厳ある生き方の実現のため、連携して頂いている医療機関や施設との情報共有も積極的に行ってまいりたいと考えています。



*広島県 ACP（アドバンス・ケア・プランニング，愛称「人生会議」）の普及促進 参照元

さいごに

当院はがんと診断された時から行う緩和ケアの実現にむけて、多職種連携や地域の皆様との連携を大切に診療を行ってまいります。介入の時期や頻度は状況によって変化するものと思いますが、患者様が切れ間ない緩和ケアを受けられるようスタッフ一同真摯に取り組んでいきます。外来通院や入院についてお気軽にご相談・お問い合わせいただければ幸いです。



緩和ケアとがん治療のチャート
がんの治療に伴う苦痛（吐き気、食欲低下、痛みなど）の状況に応じて、緩和ケアはがん治療とあわせて行われます。



担当医

理事長
緩和ケア病棟医長

池尻 佑美

外来・入院面談	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	—	—	●	●	—	—	—
午後 14:00～18:00	●	—	—	—	—	—	—

※他緊急性のある場合は応相談

人工関節外来のご案内



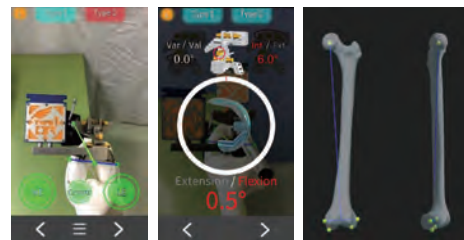
人工膝関節置換術

人工膝関節置換術は、傷んだ関節表面を切除し、金属やセラミック、ポリエチレンなどで作られた人工の関節に置き換える手術です。虫歯を削って被せ物をするような手術です。

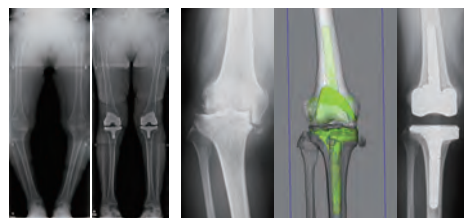
現在日本では年間9万件以上行われているといわれています。近年、人工膝関節置換術は、人工関節自体のデザインや素材が飛躍的に良くなり、また手術方法の発達により、15～20年以上長期間でも90%が入れ替えを必要としないで済むと報告されています。

当院では、術後安定して歩ける膝、良好な機能獲得を目標に、個人個人の膝の形態に合わせたオーダーメイドの人工関節手術を行っております。骨の形は立体的に人それぞれ少しずつ異なっており、術後良好な機能を獲得するためには、それぞれの骨の形に合った手術を行うことが理想的です。当院では術前のCT画像をコンピューターに取り込み、特別なソフトウェアを使用して、手術を受けられる方、個々の骨の形に合うように手術前計画を立てています。

さらにその計画を元に正確な手術ができるよう、最新のARポータブルナビゲーションを使用して手術を行っております。この手術法により、より正確な人工関節の設置が可能となり、より長期間の関節機能維持と膝の痛みの改善が期待されます。しかも変形が高度な膝や再置換膝にも対応することができます。



ARポータブルナビゲーション



O脚膝 術前 人工関節 置換術後 高度破壊 膝術前 術前計画 術後



3次元術前計画

主な疾患

変形性膝関節症が最も多い疾患で、それに伴う半月板損傷やその他リウマチの患者様が多くおられます。年代としては60代から80代までの方が一番多く、中には50代や90代の方で人工膝関節手術を受けられる方もおられます。

若いうちに人工膝関節を入れると、数十年後に入れ替えの手術を行う可能性も出てきますが、50代からの20年と70代からの20年ではやりたいことやできることも大きく変わってきますので、早く痛みをとってやりたいことをやる方がよいのではないのでしょうか。



人工膝関節置換術を受ける流れ

外来受診を受けていただき、まずは保存療法をお勧めします。

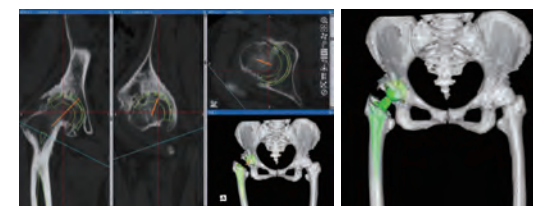
それでも痛みが続き、日常生活に支障が出る場合は人工関節手術をお勧めします。当院では基本的に手術の前日に入院していただいております。術後は通常翌日からリハビリをはじめ10日～2週間でリハビリ病棟に移ります。

当院では、麻酔科医師と連携して疼痛コントロールをしっかり行ないますので、リハビリもスムーズに進めることができます。



人工股関節置換術

主に変形性股関節症に対して行われる手術です。人工関節の中では、膝関節に次いで多く、日本で年間約7万件行われているといわれています。人工関節材料や手術方法が目覚しく発展し、耐用年数は大幅に伸びています。現在は手術後20年経過しても、約80%の患者さんで入れ替えが不要といわれています。



3次元術前計画



術前レントゲン

術後レントゲン

患者さまとご家族に目線をあわせて 退院後まで一貫したサポート

内科や他科の医師のサポートにより整形外科以外の内科・循環器科疾患にも対応できる体制になっています。当院では一般病棟と回復期リハビリ病棟があるので、リハビリのために転院する必要がなく、手術からリハビリまで一貫して治療を行うことができます。

退院後も引き続きサポートいたしますので、患者様にもご家族にも安心していただけると思います。



まずはお気軽にご相談ください



整形外科 診療部長
吉岡 徹

診察日

月曜 AM / 水曜



整形外科 主任部長
澤 幹也

診察日

火曜 AM/木曜 PM/
金曜 PM

詳しくはこちらを
ご覧ください



内視鏡検査の ご紹介

定期的な検査で 健康管理や病気の早期発見を

近年、胃がんや大腸がんといった消化管疾患は内視鏡検査を用いて診断されています。日本において胃がんは罹患率3位、死亡数3位、大腸がんは罹患率1位、死亡数2位と非常に多い疾患であり、以前から早期発見、早期治療がうたわれ、実践されてきています。

がんの中でも胃がん、大腸がんは患者の数、死亡者数ともに非常に多い。

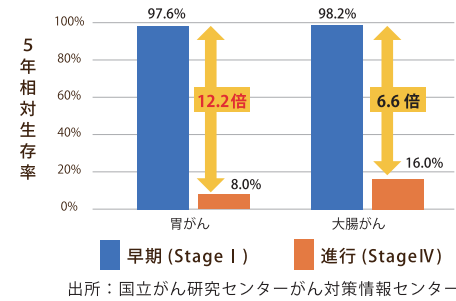
がん罹患数の順位（2019年）					
	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

参照：全国がん登録罹患データ

がん死亡数の順位（2021年）					
	1位	2位	3位	3位	5位
総数	肺	大腸	胃	胃	肝臓
男性	肺	大腸	胃	胃	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	膵臓	胃

参照：人口動態統計がん死亡データ

早期がんと進行がんでは予後が大きく変わる



検査機器の高性能化

内視鏡検査の普及に伴い、内視鏡機器も目覚ましい発展を遂げており、診断能の向上、スコープの小型化、画像の高解像度化がなされています。

そのおかげもあり、苦痛の少ない良質な検査ができる環境が整ってきました。当院でも患者様のより良い検査を提供できるように、苦痛の少ない経鼻内視鏡検査（鼻からの胃カメラ）、鎮静剤（眠くなるお薬）の使用などを行っています。症状があり困っている方、定期検診を受けようか考えている方、内視鏡検査をすすめられた方がいらっしゃいましたら、ぜひ当院へご相談ください。

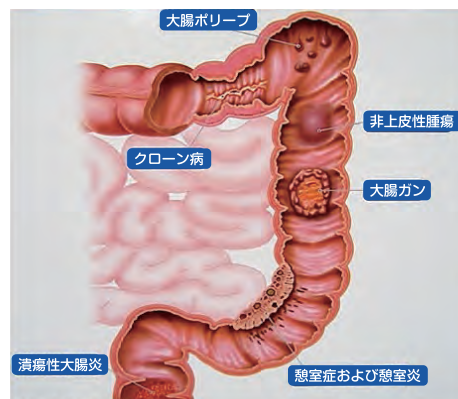


経鼻内視鏡



左：経口内視鏡
中央：経鼻内視鏡 右：鉛筆

（マルホ株式会社より引用）



大腸の病気は大腸カメラで診断できる。
ポリープ、早期がんは大腸カメラで治療できることが多い。

早期胃がん



早期胃がんは胃カメラで診断、完治できるものが多い。
進行胃がんは診断はできるが、治療は手術や抗がん剤になる。

進行胃がん



月曜から土曜まで毎日検査を受け付けております（土曜は胃カメラのみ）。
鼻からのカメラ（経鼻内視鏡）や眠くなるお薬（鎮静剤）を使用しての苦痛の少ない検査も行っていますので、お気軽にご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	●	●	●	●	●	● 胃カメラのみ	－
午後 14:00～18:00	●	●	●	●	●	－	－

✓ 健康アップ！健診で活力ある生活へ

健康診断と人間ドックのご案内



A セット

5,000 円（税別）

診察、身体計測（身長、体重）、視力検査、
聴力検査、血圧測定、尿検査、胸部レントゲン
検査、心電図検査

B セット

8,000 円（税別）

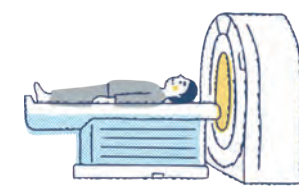
診察、身体計測（身長、体重）、視力検査、
聴力検査、血圧測定、尿検査、胸部レントゲン
検査、心電図検査、
血液検査（血算、肝・腎機能、血糖、血中脂質、
尿酸値、CRP）



追加オプション

脳ドック（MRI-MRA 検査）	腫瘍マーカー 1 項目 （前立腺がん（PSA）、膵臓がん（CA19-9）、肝臓がん（AFP）、 消化器がん（CEA）、卵巣がん、子宮がん（CA125））
胸部ヘリカル CT	
乳がん検査	
胃内視鏡検査	心機能検査 心エコー 血液：NT-proBNP
胃透視（バリウム）検査	頸動脈エコー
全大腸内視鏡検査	血圧脈波検査（動脈硬化検査）
ヘリコバクター・ピロリ検査（血液）	HPV 検査（血液）
腹部エコー	肝炎ウイルス検査（血液：HBs 抗原、HBs 抗体、HCV 抗体） 甲状腺機能検査（血液：FT3、FT4、TSH） 骨密度検査（DEXA 法）

一般の方、企業様 共通項目になっております。
お気軽にお問合せください。



お問い合わせ・ご予約：082-294-5151 予約受付時間：平日 9：00 ～ 18：00

外来診療予定表・整形外科専門外来

令和 6 年 4 月 1 日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	吉岡（10:00～） 副島 橋口	池尻（好） 澤 古賀	吉岡 池尻（好） 古賀	藤林 村田（10:00～） 齋藤	副島 古賀 沖本	藤林 産業医大
	午後	池尻（好） 林（広大整形）	村田 齋藤 四宮（広大整形）	吉岡 齋藤	村田（14:30～） 澤 生田（広大整形）	澤 副島 沖本	広大整形 or 広大救急
整形外科 専門外来	午前	【人工関節外来】 吉岡	【肩外来】 池尻（好）	【肩外来】 池尻（好） 【人工関節外来】 吉岡	【脊椎外来】 藤林・村田	【骨粗鬆症外来】 沖本	【脊椎専門外来】 藤林
	午後	【肩外来】 池尻（好） 【スポーツ外来】 池尻（好） 【手の外科外来】 林	【脊椎専門外来】 村田	【スポーツ外来・人工関節外来】 吉岡	【脊椎専門外来】 村田 【足の外科外来】 生田	【骨粗鬆症外来】 沖本	

内科	午前	高野	清下	高野	高野	清下	高野
	午後	高野	清下	高野	清下	清下	広大救急
内科 内視鏡	午前	石橋	松原	石橋	松原	石橋	松原
	午後	石橋	松原	石橋	松原	清下	広大救急
循環器内科	午前	広川	石田		石田	大澤	

外科 消化器科	午前	岸	笹田 （広大腫瘍外科／～12:00）	平井	岸	平井	岸
	午後	平井	岸	平井	岸	坪川 （広大外科／14:00～17:00）	広大救急
外科 専門外来	午前		【乳腺外科】 笹田 （広大腫瘍外科／～12:00）				
	午後				【栄養障害・摂食障害外来】 岸		

緩和面談 外来	午前			池尻（佑）	池尻（佑）		
	午後	池尻（佑）					

漢方外来	午後			小川 （広大漢方診療センター ／隔週 14:30～）			
------	----	--	--	----------------------------------	--	--	--

診療時間

平日 午前 9:00～12:00
午後 14:00～18:00（水曜14:30～）
土曜 午前 9:00～12:30
午後 休日体制

※新患受付：平日17:45まで 土曜12:15まで

休診日

日曜・祝日（急患は随時受け付けます）

標榜科目

外科・整形外科・内科・消化器外科・循環器内科
消化器内科・肛門外科・乳腺外科・放射線科
麻酔科・リハビリテーション科・緩和ケア科・精神科

二次救急指定病院／労災保険指定病院／病院群輪番制病院／日本医療機能評価機構認定病院



医療法人社団曙会
シムラ病院

〒730-0841 広島県広島市中区舟入町 3-13
TEL：（代表）082-294-5151（地域連携室）082-261-6720 FAX：082-294-5152
<https://www.shimura.hospital/>



患者支援センターのご案内

紹介患者の受付

- 病診連携、地域連携についてのお問い合わせは、
082-231-6720（患者支援センター直通） へご連絡ください。
- 患者情報や診療依頼は、**FAX（082-292-8680）患者支援センター宛**てに送信ください。
確認後必要に応じて診療の調整依頼を行います。
- 転院は、緩和ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟への転院のご相談、
入院紹介を承っております。担当のソーシャルワーカーまでいつでもご連絡ください。

緊急 及び一般病棟入院	受付または患者支援センター または直接担当医師へご連絡ください
回復期リハビリテーション病棟	MSW（内線 344）
緩和ケア病棟	MSW（内線 517）

がん相談

令和5年2月から、緩和ケア認定看護師が配属されました。
がん患者の治療・療養・意思決定支援等様々な
相談・カウンセリングを行います。



総合相談案内

療養生活や退院後のことなど、何かお困りのことはありませんか？社会福祉士の資格を有した
各病棟専任の医療ソーシャルワーカー（医療相談員、MSW ともいいます）と認定心理士の資格を
有した看護師が様々な相談に応じます。予約が必要な場合もありますが、お気軽にご相談ください。

時間帯

平日 8:30～17:30
土曜日 8:30～12:30

連絡先

（代表電話）082-294-5151
（直通電話）082-231-6720
（直通FAX）082-292-8680



特定施設入居者生活介護
介護付有料老人ホーム

ハビリス・シムラ



「ハビリス・シムラ」は2021年3月にシムラ病院隣地に開設後、2024年4月末までに延べ114名の入居者様をお受け入れし、23名の入居者様のお看取りをさせていただきました。
私共は「死は生の延長」であり「良いお看取り」の為にはお元気なところからの「より良く生きることができる生活支援」が必須と考え、日々の業務にあたっております。これからも『病院隣接・看護師24時間常駐・お看取り対応可能』の特徴をいかし、地域住民の皆様や医療機関の皆様のお役にたてるよう、職員一同精進してまいります。
引き続き、宜しくお願い申し上げます。

施設長 澤 衣里子



ご入居までの流れ

- 1 お問い合わせ** ☎ 082-503-5707 とくひろ 担当:徳弘(生活相談員)
- 2 ご見学** 現在お困りのこと、入居されてからの生活について、ゆっくりお伺いさせていただきます。
- 3 入居申込** 入居をご希望の場合は、「入居予約申込書」にご記入ください。
- 4 面談** 必要書類が揃い次第、専門職員がご入居者の心身の状況やご要望をお伺いします。
- 5 ご契約** 入居後の生活について、ご説明いたします。
- 6 ご入居** スタッフ一同、心よりお待ちしております。

「ハビリス・シムラ」の特徴

- シムラ病院隣接**
隣接するシムラ病院が協力医療機関として医療面をサポートします。
- 24時間看護師常駐**
介護士はもちろん、看護師も24時間365日常駐。夜間でも必要な医療対応を行うことができます。（点滴、CVポート、気管切開、胃瘻、経鼻栄養など）
- 訪問診療・往診**
医師による在宅診療（訪問診療・往診）をご自身の居室で受けることができます。
- ターミナルケア・看取り対応**
入居者様・ご家族に寄り添うターミナルケアを提供致します。

ご入居様募集中！ お気軽にご相談ください。

全室個室 定員50名



介護付有料老人ホーム

ハビリス・シムラ

TEL 082-503-5707

〒730-0841 広島市中区舟入町3番9号

お問い合わせ



【施設概要】■施設名称/介護付有料老人ホームハビリス・シムラ■所在地/広島県広島市中区舟入町3番9号■類型/介護付有料老人ホーム■介護保険/特定施設入居者生活介護■敷地面積634.75㎡■延床面積5388.64㎡■居室総数/50室（全室個室/定員50名）■構造・規模/鉄骨造地上8階建て耐火建築物■居室設備/エアコン、洗濯機付トイレ、車椅子対応洗面台、ナースコール、システム家具、照明器具、介護用ベッド■共用設備/エントランス、食堂・機能訓練室、談話室、事務室、洗濯室、共用トイレ、脱衣室、一般浴室、機械浴室■居住の権利形態/利用権方式■利用料の支払方式/月払方式■入居一時金/0円■利用料月額（家賃、管理費、食費）210,000円～260,000円※介護保険サービス費、医療費、自費サービス、紙おむつ代などは含まれていません■入居時の要件/原則65歳以上の方、要支援、要介護認定を受けている方■入居時期:2021年（令和3年）3月1日～■介護に係る職員体制3:1（要介護者3名に対し、常勤換算1名以上の職員体制※週40時間換算）■土地建物の権利形態/事業主体所有■事業主/シムラ商事株式会社